

# ウィズコロナ時代における、 病院・高齢者施設の感染リスク低減を目指して

癒しのトイレ研究会 事務局長 河村 浩

2019年12月以降、新型コロナウイルス感染症が世界へと拡大し、日本においても医療現場が逼迫、まさに国家的大規模災害ともいえる事態になりました。このパンデミックはいまだ収束しているとはいえませんが、まずは、新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、ご家族、関係者の皆様に心よりお悔やみを申し上げます。そして、長きにわたって未知のウイルスと闘い、治療および感染対策に力を注いでこられました医療関係者の方々ははじめ多くの皆様に、深い敬意と感謝を申し上げます。

## ■ 病院施設と感染対策

当研究会が新型コロナウイルス感染症流行前の2019年に実施した調査では、病院内でもっとも力を入れているのは「感染対策」だという結果がすでに出ていました。一方で、多くのスタッフが「病棟トイレ」、「空調」に改善の必要性があると回答（P7参照）。施設の老朽化などにより、トイレ、空調にはまだ十分な対策が講じられていない現状がここに表れていました。さらにこの後、病院施設における「感染対策」の重要性は、新型コロナウイルス感染症の流行により、ますます注目されることとなりました。

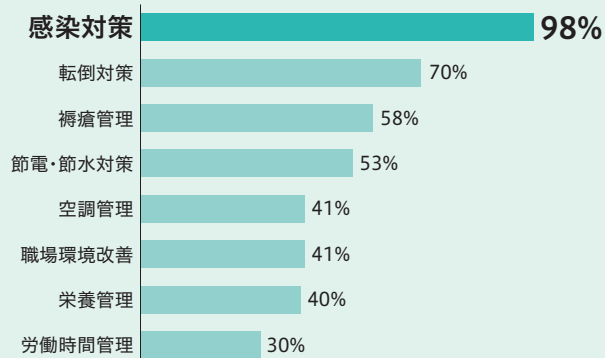
## ■ 医療従事者の声、改善が求められる水まわり

新型コロナウイルス感染症流行後に看護師を対象として実施したアンケートでは、流行前後で「手洗いの重要性の意識が変わった」という声が73%を占めました。また、実際に「手洗い回数が増えた人」は72%に上り、平時から手指衛生意識の高い看護師であっても、その重要度を改めて認識したことがわかります。さらに患者と医療スタッフの手洗い器や器具洗いのシンクを分けたなど交差感染対策を意識した意見もあり、適切な手洗い環境づくりが現場から求められていることがわかります（P16参照）。

全国の病院事務長に聞きました！

Q 病院内で  
力を入れていること  
(複数回答)

病院内で力を入れていること 1位:感染対策

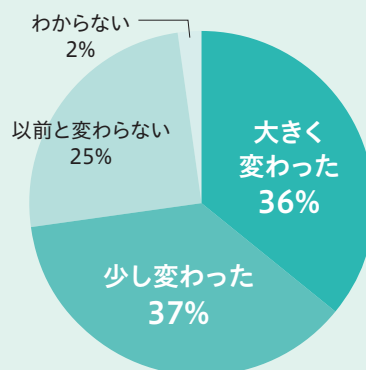


※上位8項目  
出典:癒しのトイレ研究会調査(2019年/n=89)

全国の看護師911人に聞きました！

Q 新型コロナウイルス流行前と比較して、  
「手洗いの重要性」の意識に  
変化はありましたか？

手洗いの重要性の意識 変わった→73%



出典:病院・クリニックの看護師意識調査(2021年7月/TOTO調査/n=911)

## 癒しのトイレ研究会とは

2000年、より良い病院・福祉施設のトイレ環境づくりを目指して、トイレ関連企業が結束して立ち上げたのが、癒しのトイレ研究会です。発足以来、調査・研究を重ねて毎年研究誌を発行し、学会発表や各種セミナーなどを継続して開催してきましたが、新型コロナウイルス感染症の流行を経て、ウィズコロナ時代に我々の果たすべき役割は大きいと感じております。今後もますます研鑽を重ね、安全で快適で使いやすく、使用者の気持ちに配慮したトイレ空間の創造に貢献してまいります。



癒しのトイレ研究会  
事務局長  
河村 浩

(本誌掲載内容について)

・本誌に掲載している内容につきましては、病気の治療や予防を目的とするものではありません。  
・本誌に掲載している抗ウイルス性能・抗菌性能は、全てのウイルス・細菌に対して発現するものではありません。  
また、全てのウイルス・細菌に同様な試験結果が得られるとは限りません。

## Index

感染制御学と病院建築設備の有識者による座談会	4
衛生管理に配慮したプラン	
病院施設	
■ 病棟 多床室	10
■ 病棟 個室	12
■ 病棟 病室内共通	13
■ 外来トイレ	14
■ エントランス・廊下手洗い	15
■ スタッフゾーン	16
高齢者施設	
■ 高齢者施設 居室	18
共通	
■ 空調設備	20
■ 清掃・メンテナンス	22

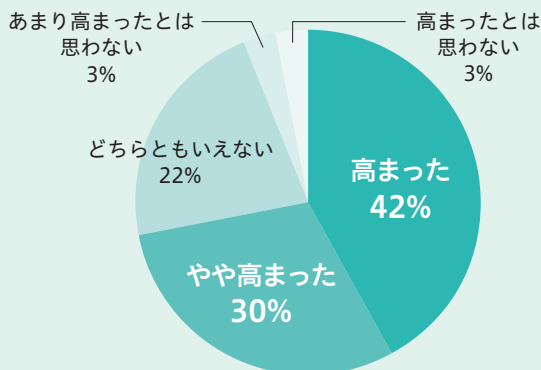
## ■ 次のパンデミックまでを見据えた施設環境の向上を

今回のパンデミックでは病院や高齢者施設が以前から行ってきた「感染対策」の重要性が改めて浮き彫りになりました。次ページからの座談会にもあるとおり、これからは新型コロナウイルス感染症や多剤耐性菌、薬剤耐性菌による感染症など、さまざまな感染症と人間が共存していく時代になります。その中でトイレは感染拡大の重要なファクターです。特に病院や高齢者施設のトイレは、患者・医療関係者・訪問客などさまざまな人が使用するからこそ、設備・清掃・メンテナンスを含め、徹底した衛生環境づくりを実現しなくてはなりません。新型コロナウイルス感染症入院患者を対象とした調査でも、流行拡大前と比べて「病院の水まわりの衛生面に対する意識が高まった」という声が72%。入院病棟において衛生面が気になった場所の第1位は「共用部のトイレ」という結果でした。この結果を真摯に受け止め、来たる次のパンデミックに対応可能なトイレ環境づくり、衛生性のさらなる向上が必要であると考えます。その中で、癒しのトイレ研究会が専門家、関連企業と協働して制作したこの「感染症対策ブック」がお役に立つことができれば幸いです。

### 全国の新型コロナウイルス感染症入院患者100人に聞きました！

Q 新型コロナウイルス感染拡大前と比べて、病院の水まわりの衛生面に対する意識は高まりましたか？

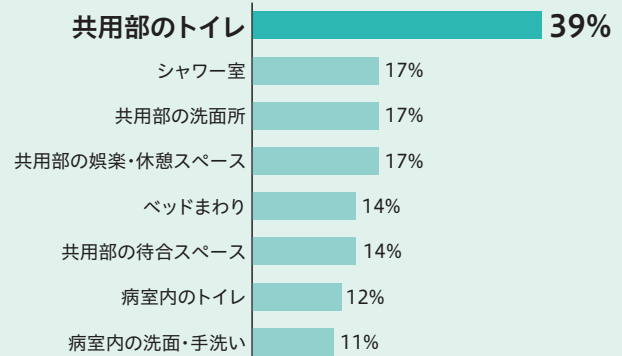
病院的衛生面への意識 **高まった→72%**



出典：コロナ禍の入院経験者の水まわり意識調査(2021年9月/TOTO調査/n=100)

Q 入院した一般病棟において「衛生面」で気になった場所は？  
(複数回答)

病院的衛生面で気になる場所 **1位：共用部のトイレ**



※上位8項目(特になし/覚えていないを除く)

出典：コロナ禍の入院経験者の水まわり意識調査(2021年9月/TOTO調査/n=100)